

## 研修科目と研修時間数

科目	時間
1 職務の理解	6時間
・多様なサービスの理解	
・介護職の仕事内容や働く現場の理解	
2 介護における尊厳の保持・自立支援	9時間
・人権と尊厳を支える介護	
・自立に向けた介護	
3 介護の基本	6時間
・介護職の役割、専門性と多職種との連携	
・介護職の職業倫理	
・介護における安全の確保とリスクマネジメント	
・介護職の安全	
4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携	9時間
・介護保険制度	
・障害者総合支援制度およびその他の制度	
・医療との連携とリハビリテーション	
5 介護におけるコミュニケーション技術	6時間
・介護におけるコミュニケーション	
・介護におけるチームのコミュニケーション	
6 老化の理解	6時間
・老化に伴うこころとからだの変化と日常	
・高齢者と健康	
7 認知症の理解	6時間
・認知症を取り巻く状況	
・医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	
・認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活	
・家族への支援	
8 障害の理解	3時間
・障害の基礎的理解	
・障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識	
・家族の心理、かかわり支援の理解	
9 こころとからだのしくみと生活支援技術	75時間
(1) 基本知識の学習	10～13時間程度
・介護の基本的な考え方	
・介護に関するこころのしくみの基礎的理解	
・介護に関するからだのしくみの基礎的理解	
(2) 生活支援技術の講義・演習	50～55時間程度 (実習8時間以上)
・生活と家事	
・快適な居住環境整備と介護	
・整容に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	
・移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	
・食事に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	
・入浴・清潔保持に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	
・排泄に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	
・睡眠に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	
・死にゆく人に関連したこころとからだのしくみと終末期介護	
(3) 生活支援技術演習	10～12時間程度
・介護過程の基礎的理解	
・総合生活支援技術演習	
10 振り返り	4時間
・振り返り	
・就業への備えと研修修了後における継続的な研修	
合 計	130時間

※施設実習2日間実施